



発行所
東京都武蔵野市境
5-8
亜細亜大学同窓会 青々会
電話 0422-51-1600
FAX 0422-51-0929
振替 00100-2-80629

11月3日(火・祝)の行事中止 新型コロナウイルス禍で

中止となった11月3日(祝)の会議・イベント

- 令和3年度協議員会
- 令和3年度幹事会
- 令和3年度連合会長・支部長会議
- 令和3年度「ホームカミング・デイ」

ホームカミング・デイも

世界から日常を奪った新型コロナウイルスの影響により、青々会が毎年開催し恒例となっていた11月3日(火・祝)の行事がすべて中止となった。

幹事会や協議員会はもとより、多い時で500人以上が出席する「ホームカミング・デイ」も、平成3年の創立50周年の一環事業として開始以来、初めて中止となった。大学との共催となっていたため、大学への

三役会で協議

新型コロナウイルス禍での活動を

令和2年7月14日(火)午後2時から、青々会本部会議室において新型コロナウイルス感染防止に十分配慮し、三役会を開催した。コロナ禍における青々会活動の9月以降開催予定の連合会・支部総会への対応、11月3日での例年開催の青々会会議体及び大学共催行

入構ができない状況や、いわゆる3密、料理の提供方法の問題などもあって、中止が決まった。感染拡大が続く中、青々会の役員会(左記三役会の記事参照)を7月14日に開催し、11月3日の各種行事について協議・検討した結果、その後の大学からの入構禁止、アジア祭中止、ホームカミング・デイの中止

「新春の集い」も中止

「代表幹事」は持ち越し

「新春の集い」も中止にしている青々会「新春の集い」も、新型コロナウイルスの

「アジア祭」も初の中止に

「アジア祭」も初めて中

決定などを受け、すべての行事の中止を決定した。

止に――母校の学園祭である「アジア祭」も、今年度は中止となった。昭和34年(1959年)11月に第1回が開催されて以来初めての中止である。新型コロナウイルスの影響で学生は入構できず、課外活動も日の出キャンパスで活動する団体以外全くできない状況が続いている(9月25日現在)。

興亜神社例祭は関係者のみで

11月3日の恒例行事となっている同窓会と大学の共催でもある興亜神社の例祭は、新型コロナウイルスの影響により、今年は関係者のみでの開催とすることになった。

開催時には、改めて通知する。

定時総会

最終通知はHPで青々会会則第15条に基づき、来年6月に定時総会を開催する予定です。

コロナショックの克服には青々会のネットワークの活用を

青々会会長 落合 寛司



デルを10年以上以上進化させたと思います。その代表がテレワーク等在宅勤務が大幅に社会に定着化したことです。このことによりペーパーレスや印鑑レス等、デジタル化が大幅に進むとともに、住居地や住居環境等も変化してくると推測されます(コロナショックビジネス)

ス編の影響関連図参照)。また、在宅勤務は勤務時間と基本とした給与体系から業務成果を基本とした給与体系に暫時移行されていき、成果主義の給与体系になっていくと思われま

コロナショック=ビジネスモデル変革の急加速

変革への対応=勝ち組と負け組の分岐

主役=デジタル化=生産性や収益性の向上

在宅勤務	ペーパーレス化	マーケット拡大	データ活用
成果型給与…所得格差拡大 兼職拡大…人材流動化 人材の流動化…採用変更 事務所面積減少…投資変更	事務処理…データ一括処理 データ…ターゲット営業 営業体制…社外人材活用 業務処理…スピーディー	業務エリア…急拡大 社外人材…活用拡大 マーケット概念…新概念重要	業務戦略…データ活用 評価制度…再構築 営業戦略…再構築

ビジネスモデルの再構築

1. 自社への影響度調査・強点や弱点調査
2. 自社のビジネスモデルの構築
3. 変革の優先順位とスケジュール化

「青々会報」は年1回発行に

ホームページに重きを

青々会報は年1回の発行に――昨年11月の協議員会業務計画にある会報の発行について、次年度(令和3年度)から年1回の発行に調整した結果、経費削減のため、これまでの年2回から年1回の発行とすることになりました。経費の中でも郵送・発送

旧1号館の解体工事進む

旧1号館の解体工事が行われている。昭和41年に完成した旧1号館は、その役目を新たな1号館に移している。9月末現在、地下1階地上5階建てのその形はほぼなくなった。



旧1号館を5号館側から撮影(右側が体育館)

国内支部の状況と 全支部長からのコメント集

———2・3・4面に

新型コロナウイルスの影響で今年の連合会・支部総会は軒並み中止となりました。会報紙面では全国の支部総会などの結果を掲載してきましたが、それができなくなったため、各支部長にひと言コメントを依頼しました。今号では、お寄せいただいた支部長のコメントを掲載します。

併せて、各支部の会員数とこの春卒業した当該支部の卒業生数（カッコ内）も掲載します。各支部の取り組みや内容とともに今後の活動の参考にしていただければと思います。

なお、掲載にあたっては分量の関係で、いただいたコメントを一部割愛させていただいた部分もありますのでご了承ください。

国内全65支部の総会時期と会員数、支部長からのコメント					
地区 連合会	支部名	支部長 (卒業年度・学部)	総会の開催 地・時期	支部会員数 (カッコ内は令和 元年度卒業生数)	支部長のひと言コメント
北海道	釧根支部	市川 隆支部長 (昭和40年度商学部)	釧路市／4月	50人(1人)	毎年の定期総会は当然のこと、5月には支部会員手作りの“亜細亜の森”での桜見会。今年は残念ながら10年続いた硬式野球部キャンプがコロナ禍で中止も、来年は11回目として期待と楽しみ。冷涼な釧路へ各支部からの来釧を歓迎です。
	帯広支部	松田孝志支部長 (昭和50年度経営学部)	帯広市／2月	77人(0人)	連合総会参加、支部総会開催、ゴルフ・パークゴルフの開催、釧路での野球部の合宿支援・慰労会への参加、帯広での野球部練習試合応援、役員会は天竜食堂(河西・昭和40年度卒)で油ソバを食べながら開催、今後はズーム等による大学関係者への講話以来、若手参加への促進(行事の見直し、会費、場所、若手リーダーの育成)、さらに名簿確認、連合との連携を深めていく。
	北見支部	横森正敏支部長 (昭和43年度商学部)	北見市／5月	65人(1人)	平昌五輪カーリング女子で銅メダルを獲得した日本代表のLS北見は、今でもフィーバーは衰えておりません。この功績にあやかり、当支部は活性化策を模索しています。それには若い世代の発想が必要不可欠です。
	旭川支部	伊藤浩昭支部長 (昭和43年度経済学部)	旭川市／10月	99人(1人)	会員の高齢化、出席者の固定化・減少化が課題。直近の支部会員数98名(本部調べ)。内、市街会員約40名、出席者は2名のみとなっており、目先を変え、支部総会を旭川以外の市町村での開催を検討。また、配偶者同伴、時には子供・孫同伴のイベント開催も検討したい。
	札幌支部	笹出和彦支部長 (昭和42年度商学部)	札幌市／12月 (近年)	428人(5人)	新型コロナ禍により、支部の総会・連合総会は8月開催予定でしたが中止としました。支部の年間行事は以下の通りです。2～3月：珍々亭の油ソバを食べる会(中止)、6月：ジンギスカン・さくらんぼ狩り(中止)、6～7月：ゴルフコンペ(7月に実施)、8～9月：支部総会(中止)、10月：ゴルフコンペ(実施予定)、12月：忘年会(未定)。新型コロナに負けず、いつまでも元気で参加青々会。
	函館支部	川崎研司支部長 (昭和48年度経営学部)	函館市／3月	106人(1人)	函館では「東都リーグ大学交流会」があります。東都大学野球リーグで一度でも一部に入った大学で函館在住のOBが参加条件です。23大学が加盟、年に一度交流します。函館支部が事務局です。箱根駅伝も野球もみんな頑張れ!
東北	青森支部	天内孝一支部長 (昭和56年度法学部)	青森市／10月	403人(2人)	(若い)会員を増やすためには・・・当部の活動は、年1回の総会・懇親会ということもあり、参加者は減少傾向にあります。そこで、懇親会の費用の見直しや総会案内に動機づけ(「定年を迎える」など節目にアプローチ)となる文言をつけ、年配者宅へ訪問する等との交流に心がけ、会員を増やしたい。
	秋田支部	佐藤孝也支部長 (昭和49年度法学部)	秋田市／11月	463人(1人)	支部会には今まで必ず出席するようにしていたが、自分が支部長になってからは、総会や新年会などへの人集めの大変さを痛感した。支部長になって、一番に手掛けたのは、全ての会員への声掛け。その成果があり参加人数は以前より増えた。今後は先輩・後輩の絆をより強くして、支部を盛り上げ、大学の名声を高めていきたい。
	岩手支部	工藤 篤幹事長 (昭和42年度商学部)	盛岡市／7月	437人(2人)	総会時に会員講話を行っています。県内の首長、高校教員、野球部OBにより、興味深い話をさせていただきました。また、東日本大震災で被災されたOBより、当時の生々しい話を伺い、決して風化させてはならないと意を新たにしています。
	山形支部	今井啓三支部長 (昭和54年度経済学部)		420人(3人)	山形県支部としては、総会も開催できず、活動らしい活動はできていないのが現状です。コロナ感染予防が確立されることを願いながら、支部役員と会議をして支部活性に向けた方策を協議していきたいと考えています。
	宮城支部	阿部安之支部長 (昭和59年度経済学部)	仙台市／10月	306人(7人)	宮城県支部はここ数年で出席いただく会員の皆さんや役員の方々の年齢層が下がってきており、今後の活動の活発化が見込まれます。先輩方が作ってきた支部のますます活発な楽しい会にしましょう! 皆さんの若い力が必要です!
	福島支部	渡部英一支部長	郡山市	897人(7人)	新たな日常下での支部活動・・・前年度の改選で支部長に推挙されましたが、コロナ禍のなか事業計画等役員会も開催できず、支部総会も中止せざるを得ない状況です。今後の支部活動は時期を見て役員の皆様と協議のうえ、趣向を凝らした支部活動に努めていきたいと思います。
甲信越	新潟支部	大橋博文支部長 (昭和56年度経済学部)	新潟市／10月	1363人(15人)	昨年、10月に支部長に就任してもうすぐ1年になりますが、新型コロナ禍による様々な行事が中止される中、新潟県支部としては今後、会員の皆様方に一人でも多く参加していただけるよう幹事長とともに話し合いながら進めていきたいと思っています。若い方もベテランの方も是非とも新しい新潟県支部総会に参加をお願いいたします。
	長野支部	成田守夫支部長 (昭和45年度法学部)	上田市／ 2021年11月	1611人(8人)	昨年第4回黒姫・妙高山ろく駅伝大会に長野支部は応援参加。今年は中止。来年は若い世代の参加を願います。COVID-19の影響から世界同時環境改善が進行中。長野支部も行動して参ります。 ※2020年11月、支部総会は中止のため、2021年11月に上田市で開催予定。
	山梨支部	深沢邦秀支部長 (昭和50年度経営学部)	甲府市／11月	946人(10人)	
北関東	栃木支部	永井和江支部長 (昭和45年度短大)	宇都宮市／11 月第2土曜日	1119人(6人)	新年会が中止に、6月の発足13回目となる栃木県支部青心会(女性部会)の「楽しいひと時を過ごす会」も中止に。そんな中で新企画を。4月11日夜20時から初めてのZoomでの女子会を開催、慣れないながら4人が参加。その後、LINEでオンライン飲み会を8月23日20時から開催、参加者4名(終了後参加しようとした方が1名おりましたが)でLINEミーティングでなくLINEビデオ通話に急遽変更し、久々に顔を見てお話ができて楽しい時間を共有できました。リアルで会議ができるまでは、LINEミーティングやZoomで顔を合わせてコミュニケーションを図っていききたいと思います。
	群馬支部	大塚高雄支部長 (昭和47年度経済学部)	前橋市／6月	1281人(16人)	幅広い年代、多様な職業の卒業生が数多くいます。総会以外にも県内で行われる在校生の合宿応援等も計画し、その後の懇親を兼ねての食事会も楽しいものです。若い世代の会員の連絡をお待ちしています。
	茨城支部	海老澤秀明支部長 (昭和51年度経済学部)	水戸市／10月	1743人(31人)	こんな取り組みをしてみたい・・・当支部では、過去5年間の総会出席者をデータベース化し、個別に総会のご案内を差し上げて出席率の向上に努めています。将来的には支部独自の会報を発行し、前回出席者をご紹介して出席者を増やしたいと考えています。
埼玉	埼玉東支部	林 幸人支部長 (昭和46年度経済学部)	5月	2074人(71人)	今年度は新型コロナウイルス感染拡大によって毎年行っている、埼玉県東支部総会及び埼玉連合総会いずれも中止になり、お互いの近況や大学時代の思い出話で楽しいひと時を過ごすことができませんでした。県東支部は、コロナ終息後、東都大学野球の応援や親睦旅行ができるよう、支部長として願っております。
	埼玉西支部	南山徳英支部長 (昭和52年度法学部)	5月	4293人(133人)	人生100年時代です。青々会活動への第一歩が、新しい出会いの始まりです。人生経験豊かな人たちの集まりです。あなたの未来づくり、きっとお役に立つと思います。毎月第一土曜日の例会に参加してみませんか。
	埼玉央支部	大橋令子支部長 (昭和47年度商学部)	5月	3996人(154人)	1、2か月に一度の会員交流の場づくり・・・細やかな会員への呼びかけ、新たな会員の掘り起こし。総会には会員以外に在校生、入学希望者との交流、情報交換の場づくり、ウィズコロナの時代、できればインターネットの活用を奨めたい。
東京	中央支部	横田隆之支部長 (昭和57年度経済学部)	都心／5月ごろ	1442人(37人)	同窓の先輩と後輩が利害関係なく話ができる場所です。たまには目的も持たずにこうした会に顔を出すのも一興だと思います。
	城東支部	北村和一郎支部長 (昭和40年度経済学部)	東日暮里駅前 ／6月中旬	1967人(95人)	支部総会は例年6月の中旬、土曜夕方方(16:00～)に東日暮里駅近くのホテルラングウッドで開催しております。総会の魅力度をアップしようと、色々試みております。同窓生によるミニ講座(司法書士による「相続のあれこれ」)などを実施してきました。年代も幅広く、世代の違いからくる新発見があります。かつては興亜専門学校(旧制)の卒業生が出席され、シベリア抑留時の貴重な体験談なども。数年前に幹事枠を増やし、役員若返りの準備をしております。懇親会では和気あいあいと世代を超えて近況を語り合う気楽な会合です。皆様の参加をお待ちしております。
	城南支部	志澤 勲支部長 (昭和48年度経済学部)	5月	1883人(58人)	コロナ禍及び自然災害で窮屈な日々です。母校で楽しんだことが貴重な日々であったと実感しています。再開可能になったら、20～50代の同窓生が参加したくなるような企画、例えばご家族で参加可能な東京湾クルーズを思案しています。所属エリア＝大田区、品川区、世田谷区、目黒区。
	城西支部	杉本孝夫支部長 (昭和49年度経営学部)	新宿区・渋谷区 ／5月	1777人(79人)	城西支部は、新宿、渋谷にて総会、夏には神宮屋外会場でバーベキュー屋台懇親会を実施しています。今回、新型コロナにより中止となりましたが、支部に参加されれば先輩方の体験談など、知識、経験豊富な今後役に立つ話が聞けます。現役世代の若き卒業生との新しい情報交換の場となっていますので参加をお待ちしています。
	城北支部	小野塚久輝支部長 (昭和45年度経済学部)	池袋／7月	2219人(926人)	城北支部は、板橋区、北区、豊島区、練馬区在住の卒業生を対象に、例年7月に会員の親睦と相互扶助を目的に総会を開催します。美味しい料理もあり、男女20代から80代の卒業生による楽しい集いです。来年は平成年度の卒業生多数の参加を待っています。
	武三小支部	鶴谷天一支部長 (昭和41年度商学部)	武蔵境／5月	1644人(122人)	総会、懇親会、忘年会の醍醐味は、大学時代あまり話す機会もなかった方でも今この時を共有しているだけで、ぐんと近くに感じると思います。卒業以来今までのそれぞれの軌跡を伺うと人生の活力になると思います。ぜひご参加ください。楽しみにしています。
	東多摩支部	畑澤正一支部長 (昭和49年度経済学部)	府中市／6月	1339人(41人)	東多摩支部は「府中・調布・多摩・稲城・狛江」の5市で編成。主な活動は総会・懇親会、花火大会、忘年会等。情報交換や悩み事(愚痴?)と和気あいあいがモットー。OB・OGの皆さんのご参加を「鶴首」してお待ちします。

東京	南多摩支部	坂田勝彦支部長 (昭和54年度経営学部)	八王子市／7月	1620人(48人)	我が支部、ここが面白い・・・支部総会では、楽しめる総会を第一にして芸能人の方をお呼びしています。過去にはオペラ歌手や演歌歌手など。昨年はポップ三味線の歌手で大いに盛り上がりました。とにかく楽しい会ですのでお気軽にご参加ください。
	西多摩支部	荒澤健一支部長 (昭和43年度商学部)	日の出G／3月	1896人(67人)	母校開校65年記念の年から支部総会を硬式野球部春季リーグ戦の激励会に合わせ、日の出グラウンドで開催。開催後、激励会に参加し野球部員、応援指導部、多くの青々会員との懇親を図っています。参加者の増員を図り、女性部(青心会)、若年部(青年会)があります。創部以来女子陸上部も応援。日の出グラウンドや野球部のリーグ戦で神宮球場に多くの支部会員が応援しています。箱根駅伝予選会会場の国立昭和記念公園もあり、男子陸上部の応援に多くの支部員が参加しています。
	北多摩支部	安田定彦支部長 (昭和49年度経営学部)	国分寺・東村山など／5月	2601人(99人)	総会時には講師を招き講演会を開催して教養を高め、また別に高尾山への歩け歩け大会(薬王院での食事)を企画し、健康増進に努めています。
千葉	千葉支部	丸 徳也支部長 (昭和44年度経済学部)	10月(隔年)	2893人(60人)	
	東葛支部	伊藤三郎支部長 (昭和54年度経済学部)	10月(隔年)	3221人(91人)	若い世代や女性に参加しやすいイベントを開いて東葛支部を活性化し、初めて参加する卒業生に「楽しいひと時を過ごすことができました」と言ってもらえるような環境を作ってまいります。参加をお待ちしております。
神奈川	神奈川支部	井山雅史支部長 (昭和52年度経済学部)	9月	1423人(14人)	神奈川支部では、毎年9月に総会を開催しています。箱根駅伝には、予選会の応援・本選には沿道にて応援しています。また、横浜ベイスターズの嶺井・山崎の激励会に協力しています。皆様の参加を希望します。
	川崎支部	坂田和夫支部長 (昭和52年度経済学部)	川崎市／9月	1009人(30人)	川崎支部は川崎市(川崎区、幸区、中原区、高津区、宮前区、多摩区、麻生区)7区の卒業生からなる支部で、若い世代も各分野で活躍しています。HP、Facebook、Twitterも活用して広報活動も進めています。
	横浜支部	浅葉純一支部長 (昭和47年度法学部)	横浜市／8月	3042人(60人)	Only Yesterday Asia 亜細亜大学、つい昨日のことと訳しては? 当支部では、新年に「早春の集い」を中華街で、また3月、プロ野球の開幕前は地元ベイスターズで活躍する「嶺井・山崎両選手を励ます会」を山下町のホテルで、そして夏には県民ホールで港の夜景を楽しみながら総会を開いています。是非、一度気分転換も兼ねてご参加ください。
東海	静岡支部	鈴木雅教支部長 (昭和45年度商学部)	静岡市・三島市・浜松市／6月	2009人(12人)	参加者、出席者の低迷が続いています。調べたところ、同じ卒業年度に10人以上いるというのが複数期ありました。そのため、今後、そうした卒業生に連絡をしたいと考えています。
	愛知支部	須賀 勉支部長 (昭和45年度経済学部)	名古屋市／4月	473人(14人)	去年から総会で話題になっている各支部有志によるナゴヤドームへの与田(監督)中日ドラゴンズへの激励応援です。セリーグAクラス(8月26日現在3位)なら今年は応援に行く予定でしたが残念ながらコロナ禍で来年へ持ち越しです。
	岐阜支部	秋山 有支部長 (昭和45年度商学部)	岐阜市／6月第3土曜日	166人(0人)	幹事長と副支部長が平成年度卒であり、毎年参加人数中数名は平成卒メンバーです。令和元年度は野球部OBの協力により、与田監督応援ツアーを企画し、中日対巨人戦の応援に行ってきました。もちろん、試合前のベンチにも入ることができました。支部総会で会いましょう。
	三重支部	藤川啓志支部長 (昭和48年度経済学部)	桑名市・伊勢市・四日市市／6月	185人(0人)	当支部は、中部、関西の中間で、大学進学は名古屋、京都、大阪が通学可能であり、東京方面は少なく、また県内卒業生も県南部が多く、総会を南部開催にすることと、亜大の知名度アップが最大の出席率と考えます。
北陸	富山支部	久保健三支部長 (昭和41年度商学部)	富山市／11月 (前年度実績)	363人(6人)	現状は、今までも県内の地域を細分化して地区幹事を作ったり工夫してきましたが、じり貧でなかなか参加者が増えません。若い人には興味が無いのか出席率が悪いです。幹事会で意見交換もしていますがあまり効果がなく、出席する顔ぶれも変わりません。学生時代を思い出し楽しいひと時を過ごしたいと思っています。青々会報を見て、次回からぜひ出席していただければと思います(参加者が増える良い方法があればお知らせいただきたいと思います)。
	石川支部	石田満雄支部長 (昭和49年度法学部)	金沢市／10月	265人(3人)	石川県支部は年に1回、支部新聞が発行され、大学の方針、活動、支部の活動、会員のトピックス等の情報が会員に届きます。以前は、総会に新しい会員を出席していただくため、会費を安くしてみたが失敗。最近、古い会員を中心に年に一度の大学同窓会なので高級ホテルでパーティーのように楽しんでいます。無理せず20～25人は必ず出席されています。
	福井支部	(支部長逝去により選任中)		110人(0人)	
近畿	奈良支部	松村信茂支部長 (昭和44年度経済学部)	奈良市	60人(1人)	過去の総会への出席者が数名(会員比10%)前後で推移しています。救いは、返信者数が常時20余名(同40%)いることです。アトラクションをセットして運営してきましたが思い通りの参加が見込めておりません。本部からの案内以外にも事前案内や終了後には写真を添付して報告もしてきましたが、次につながらないのが現状です。青々会への意識づけも難しい問題です。就任15年となる来春には職の交代も視野に、趣向を変えて総会を企画いたします(国宝新薬師寺で十二神将の拝観と住職く友人>の講話と食事会)、私自身気合を入れてかつてない会員の参加を集めたいと決意しております。
	大阪支部	武田大和支部長 (平成8年度経営学部)	大阪市／1月	312人(13人)	大阪支部では、今年1月に近畿連合総会及び激励会(木浪選手、高橋選手)を行いました。それ以降、近畿各支部の総会を中止し定例の近畿ゴルフコンペ(大阪支部主催)も中止に。若い会員の出席が少しずつ増えてきた中でイベントが行えないことは非常に残念です。現在連合会長と各支部長と意見交換をし、コロナ終息後の活動について話し合いを重ねております。若手会員の参加はもちろんのこと、会員の家族も参加できるイベントを考えていきます。これからの近畿並びに大阪支部の活動をご期待ください。また近畿では、会長職、支部長に若手会員・女性会員の積極的登用を進めております。
	和歌山支部	鈴木祐子支部長 (昭和62年度経営学部)	和歌山市／4月	95人(1人)	こんな取り組みをしたい・・・今まで参加や連絡をしてもらった人と連絡を取り近況を確認し、次回開催できるようにになったら参加の声掛けをする。また、今まで連絡のない卒業生にも連絡を取り、近況を確認していきたい。最後に、次回総会開催の案内が届いたらぜひ返信をお願いします。
	京・滋支部	北岡順三支部長 (昭和57年度法学部)	京都市	154人(3人)	近畿は一つを合言葉に頑張っています。若い人の参加を希望しています。気楽に来てください。年配の人の参加も希望しています。昔話に花を咲かせましょう!皆さんの参加をお待ちしています!
	兵庫支部	市川博海支部長 (昭和49年度法学部)	神戸市・明石市／3月	238人(3人)	本年度は、世界遺産の姫路城を見学しながらの、兵庫県支部総会の予定でしたが、コロナの影響で、残念ながら中止となりました。また、夏の8月最後の日曜日、明石海峡大橋のたもと、大蔵海岸でのBBQも中止となり、本当に寂しい1年でした。2021年こそは、皆様と元気でおいでできることを楽しみにしております。特に大蔵海岸のBBQは、家族連れ大歓迎です。初めての方も、お待ちしております。
中国	岡山支部	下山 勲支部長 (昭和51年度法学部)	岡山市／11月	252人(3人)	ここ10数年、支部総会にはほぼ10人程度でメンバーも決まっています。令和元年度は、5名の初出席があり、中でも平成15年度卒1名、平成29年度卒2名の出席がありました。ここ1年内に青々会岡山県支部のゴルフ大会を開催したいと思います。各OB・OGの名簿にて岡山市内の方にゴルフ大会のアンケートを郵送して、その回答の様子を見て判断したいと思います。もしゴルフ大会で成功すれば若い会員の出席も増えると思います。
	広島支部	高橋雅洋支部長 (昭和57年度経営学部)	令和3年1月予定／広島市	352人(5人)	我が支部のここが面白い・・・総会は野球部と同時にを行っています(野球部出身が多いため)。懇親会は総勢50～60人が参加し、ゲーム(ビンゴゲーム等)で毎回盛り上がりっております。今後は若い世代、女性の参加が課題です。
	山口支部	藤本 毅支部長 (昭和46年度経済学部)	周南市／6月	169人(1人)	山口県からの重大受験者も減少傾向にあり、さらに合格者も卒業後の帰郷者もわずか数人です。支部会員の減少をひしひしと感じています。せめて重大で学生生活を過ごされた会員の方々は、毎年支部総会を開催していますので、ぜひご出席ください。お待ちしております。

計 報

()内は逝去年月日
※令和2年9月25日までに
青々会本部に連絡があった
方々の訃報を掲載します。

●昭和19年度卒 湯山 哲朗氏 (平成19年)
●昭和20年度卒 高橋 治氏 (令和2年7月1日)
●昭和21年度卒 加藤 隆敏氏 (令和元年6月7日)
●昭和22年度卒 橋本 博昭氏 (令和2年1月14日)
●昭和23年度卒 石川 金吾氏 (平成31年)
●昭和24年度卒 佐藤 幸一氏 (令和元年12月3日)
●昭和25年度卒 松尾 栄二氏 (平成31年2月)
●昭和26年度卒 荒井 幸次氏 福原 義秋氏 佐々木恒夫氏 (令和元年5月)
●昭和27年度卒 清水 国男氏 (平成28年)
●昭和28年度卒 仲田 脩氏 (平成30年3月)
●昭和29年度卒 倉内 良雄氏 (平成30年11月7日)
●昭和30年度卒 能田 正隆氏 (平成30年11月7日)
●昭和31年4月26日 桂 教夫氏
●昭和32年4月26日 豊本 春則氏 (平成29年)
●昭和33年度卒 沼 利久氏 (平成29年)
●昭和34年度卒 杉本文雄氏 (令和元年9月)
●昭和35年度卒 今澤 摂理氏 (令和元年9月)
●昭和36年度卒 福岡 啓介氏 (平成29年9月30日)
●昭和37年度卒 菊池 主計氏 (令和元年5月23日)
●昭和38年度卒 新庄 昭氏 (令和元年6月6日)
●昭和39年度卒 岡村 公司氏 (平成31年2月2日)
●昭和40年度卒 田野 清蔵氏 (平成31年3月29日)
●昭和41年度卒 黒石 高裕氏 (平成31年4月20日)
●昭和42年度卒 白石 武氏 (令和元年8月29日)
●昭和43年度卒 馬場 武彦氏 (令和元年12月27日)
●昭和44年度卒 中西 順一氏 (平成30年11月17日)
●昭和45年度卒 寺門 久氏 (令和元年5月17日)
●昭和46年度卒 村上 幸紀氏 (平成30年8月9日)
●昭和47年度卒 菅原 章夫氏 樋口 継晶氏 (令和元年7月25日)
●昭和48年度卒 湯川 哲雄氏 (令和元年7月25日)
●昭和49年度卒 熊崎 進氏 (令和2年10月)
●昭和50年度卒 菅原 悠紀夫氏 (平成30年11月)
●昭和51年度卒 猪股 武氏 (平成31年2月26日)
●昭和52年度卒 中牟田 紘一氏 (令和2年1月21日)
●昭和53年度卒 堤井 孝則氏 (平成30年11月)
●昭和54年度卒 吉田 佐雄氏 (令和元年6月11日)
●昭和55年度卒 福井 利一氏 (令和元年8月)
●昭和56年度卒 草間 秋男氏 (令和元年8月)

●昭和57年度卒 伊崎 正周氏 (平成31年3月)
●昭和58年度卒 襟川 明久氏 (令和2年)
●昭和59年度卒 大石 仁志氏 (平成30年)
●昭和60年度卒 笹本 治彦氏 (令和元年7月17日)
●昭和61年度卒 石井 竜司氏 (令和2年8月6日)
●昭和62年度卒 遠藤 守彦氏 (平成29年)
●昭和63年度卒 深沢 貴芳氏 (平成31年3月12日)
●昭和64年度卒 斉藤 明德氏 (平成31年3月28日)
●昭和65年度卒 和田 英章氏 (令和元年8月)
●昭和66年度卒 浅井 努氏 (令和元年8月)
●昭和67年度卒 石川 裕之氏 (令和元年12月)
●昭和68年度卒 福井 慎司氏 (令和元年7月)
●昭和69年度卒 斉藤 義孝氏 (平成31年3月14日)
●昭和70年度卒 村松 秀樹氏 (平成30年)
●昭和71年度卒 岡原 和司氏 (平成4年度卒)
●昭和72年度卒 本間 禎浩氏 (令和元年8月8日)
●昭和73年度卒 加藤 昌広氏 (平成31年3月)
●昭和74年度卒 加茂 正徳氏 (平成30年3月)
●昭和75年度卒 謹んでご冥福をお祈りいたします。

中国	島根支部	杉原敏之支部長 (昭和56年度法学部)	出雲湯村温泉 ／令和3年6月12日予定	173人(0人)	新型コロナの流行によって連合総会、支部総会中止となり、しかも学生三大駅伝の初戦出雲駅伝も中止となりました。1996年初出場で参加会員が増えその10年後に箱根駅伝初優勝。島根支部最高潮の時でした。出雲駅伝復活こそ地元会員の願いであり活性化最大の起爆剤です。※連合総会、支部総会は来年6月12日に国民宿舎出雲湯村温泉清嵐荘で予定しております。
	鳥取支部	岩本統一支部長 (昭和41年度商学部)	三朝町／11月・12月	139人(0人)	今春卒業されました新会員様は、もちろんのこと、若い会員の出席を増すための方策、方針を検討中であります(県支部会役員一同)。支部会開催の折には、支部会会員の皆様、ご出席をお願い申し上げます(支部活動に何かコメントがありましたら、よろしく願いいたします)。
四国	徳島支部	伊丹眞悟支部長 (昭和52年度法学部)	徳島市／8月	167人(1人)	同窓会に若い力を！ 近ごろ、同窓会への若者の参加が少なくなりました。「仕事が忙しい」「めんどくさい」など、理由はいろいろあると思いますが、同窓会を通して新たなコミュニケーションを形成することは、長い人生にとって大きな視野を広げられることと思います。ぜひ、大学と在学生、卒業生路の絆を深めることができる同窓会に加入していただき、楽しいひと時を過ごしましょう。
	愛媛支部	大塚伸弥支部長 (昭和52年度経済学部)	松山市 ／令和3年9月	218人(4人)	今年度の支部総会は、コロナの影響で残念ですが、開催することができませんでした。来年度9月には、会員の皆様の多数のご出席をいただき、開催したいと思います。よろしく願いいたします。
	高知支部	久 道男支部長 (昭和51年度法学部)	高知市／2月	150人(0人)	年1回の支部総会、年々参加人数は10数名、そして年齢も上がり、30歳、40歳そして50歳代前半までの会員へ向けて、電話・郵便等での連絡を役員全員の協力のもと、今後もやって行く所存です。
	香川支部	逢坂憲生支部長 (昭和49年度経営学部)	高松市／6月	172人(4人)	支部では、たくさんの老若男女に出席していただくための取り組みとして、会員からの景品の提供を受けビンゴゲームで会を盛り上げたり、県出身のOB・OGへ故郷「うどん県」に帰郷して、一緒に総会で親睦を図りませんか、と呼び掛けています。ぜひ帰郷のきっかけに……。総会でお待ちしています。
九州	福岡支部	朝元照雄支部長 (昭和52年度経済学部)	福岡市／ 9月25日予定	376人(9人)	今年度は九州連合会開催の当番県の大任を担当するようになりました。新型コロナウイルスの第1波の襲来から第2波が蔓延し、連日のように東京は毎日100人以上の陽性感染者が続出しています。また、福岡県は九州で最多の感染者県であり、福岡最大の歓楽街の中州の“夜の街”や病院、会食からも感染者が出ていました。福岡大会を開催し参加者が福岡で感染した場合、開催県担当者にとっては、責任の重大さを感じています。苦渋の決断ですが、来年9月25日(土)(現時点の暫定予定日)、開催地は博多や天神。どうぞご了承ください。
	大分支部	宮成辰也支部長 (昭和53年度経営学部)		192人(2人)	
	熊本支部	安田一郎支部長 (昭和44年度経済学部)	熊本市／8月	183人(1人)	熊本地震から4年が過ぎ、落ち着いた生活に戻りだした途端に熊本地区水害で大きな天災が降りかかり、新型コロナの影響もあり、青々会の支部活動もほとんどできない状態になりました。熊本県支部では、支部会員でLINEグループを開設しており、現在20数名の登録があり、逐次情報交換を行っております。九州連合会での各県支部長でグループを設定し情報交換を行っております。今後も同窓生で情報交換をし絆を深めていきたいと考える次第です。
	佐賀支部	坂本民雄支部長 (昭和43年度商学部)	佐賀市／ 11月・12月	78人(0人)	佐賀の青々会はちよつと変わっています。年次総会は、以前より古湯温泉の「鶴霊泉」で永年にもわたり行われています。年1回の会ですので、気持ちよく酒を酌み交わし、美味しい食事をいただき、同窓会の協議内容を本部役員様より教示いただき、お互いの職業のほか異業種交流を促進し、母校へ協力することも決定し意義ある会としています。青々クラブより当会の役員となり数名が参加。常に「おもてなしの心」を持って、「自助協力」の建学精神を忘れず、各会員がより良き人生を歩んでいただくたく存じます。つまり、胸襟を開き、心の交流が促進されるようにという先輩諸氏の素晴らしい考察であると思います。
	長崎支部	山腰英嗣支部長 (昭和42年度商学部)	長崎市／9月	120人(1人)	長崎県支部総会では、妻帯者及び既婚者は、夫婦同伴の出席を促している。また、2か月ぐらゐの間隔で「幹事会」と称し、毎回6、7名参加の飲み会を開き、情報交換をしている。なお、若い会員で初めての参加者は、参加費無料で熱烈歓迎している。令和元年11月の幹事会には、平成10年卒の新規参加者があり、老若にて毎回楽しく開会している。
	宮崎支部	小島 正支部長 (昭和46年度経済学部)	宮崎市／7月	188人(0人)	コロナによる影響で、今年は何もかも中止や延期、縮小され残念なことである。会いたい人にも会えず、行きたいところにも行けない。今後の宮崎の青々会の活動で目見通しが立たない状況であり、来年2月の宮崎でのプロ野球キャンプ、巨人、広島、オリックスと亜細亜大学出身者の激励についても、見通しがつかない。また、近年の宮崎の若い人は、関門海峡を越えて頑張ろうと考えている人が少なく、亜細亜大学入学者が少なくなっています。今後の宮崎支部の会員の絆については築かれてきているが、何とか今後も強化したい。若い世代の出席を切に願います。
	鹿児島支部	山田賢一支部長 (昭和50年度経営学部)	鹿児島市／6月	268人(1人)	新型コロナで総会もできず、青々会メンバーの皆様には、密を避けるため、会議や食事も中止し、始良市からの要請による野球教室も12月に予定していましたがこれも中止。今般、新型コロナや台風などの天災はありますが、鹿児島支部としてはこれからも地域に密着した活動をしていきます。
	沖縄支部	知花 肇支部長 (昭和49年度法学部)	那覇市／9月	271人(10人)	沖縄には『いちやゐりばちよーでー』の精神があります。「一度出会ったら皆兄弟だから仲良く付き合おう」という心です。毎月第一土曜日に居酒屋幹事会を開いています。参加者は歓迎します。「一期一会」とは違いますが。気楽に！

はじめに

青々会会員の皆さまにおかれましては、日頃より母校亜細亜大学のために様々なご尽力を賜り心から御礼申し上げます。また、この新型コロナウイルス蔓延の中で、大変ご苦勞されていらっしゃることをお察し申し上げます。

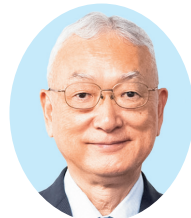
4月以降は例年ならば、各連合会総会に出席させて頂きご挨拶すべきところ、やはりコロナ禍の中、それも実現できず誠に遺憾でございます。一日も早く、以前のようにご挨拶ができるような日が来ることを祈るばかりです。また、例年11月3日に開催予定の協議員会並びにホームカミング・デーも中止となり、大変残念に存じております。

コロナ禍における 本学の対応

(1) フレッシュマン・ウエルカムデーの開催
何をおきまして、学生及び教職員の感染防止を第一に、いろいろ取り組んでおります。密を避けるということが、大学にとりまして何より大切なことです。卒業式や別れの広場の中止、入学式や出合いの広場の中止と、卒業生を送り出し、新入生を迎え入れる式典や行事ができなかったことは大変残念なことでした。その後も新入生は一度も大学に来ることもなく、前期が終わってしましました。

これではいけないということで、7月頃から、新入生を迎える何かイベントができるかもしれないということから、出合いの広場ほどではないのですが、後期

始業前の9月28日、30日にかけて「フレッシュマン・ウエルカムデー」を企画しております。新入生には強制ではなく任意ですが、オリエンテーション・ゼミナールを基本クラスとしていきますので、できれば参加してみてくださいと呼びかけましたところ千人を超える参加がありました。



学長 大島 正克

コロナ禍及び コロナ後における本学の対応

(2) 後期の授業運営体制

前期に引き続きオンライン授業を原則とさせて頂きました。前期は急遽オンライン授業ということで、学生の皆さまも保護者の皆さまも教職員も大変でしたが、前期授業期間の最後に行いました全科目を対象とした授業アンケートでは、「授業に満足しました」の項目に対し、満足が3分の2といことで皆さまのご尽力に感謝するばかりです。前期授業はスマートフォン使用を前提としておりましたが、後期は全学生がパソコン使用を前提に、双

方向かつ学生相互間のコミュニケーションも可能とした「質」の高い授業を目指します。さらに一部の科目につきましてはオンライン授業と対面授業を同時並行的に行うハイブリッド授業を採り入れます。

6月から図書館は事前予約制をとりながら徐々に開放して参りました。後期も引き続き卒業論文や課題作成などにお役立て頂ければと存じます。

9月の評議員会・理事会にて、質の高い充実したオンライン授業を後期に実施するために必要な情報環境整備として、急遽、37、900千円の計上が承認されました。

(3) 国際交流プログラム
令和2年度では、留学先からの突然の帰国や海外からの留学生の入国禁止がありました。今ところ、令和3年度の海外派遣留学プログラムも中止せざるを得ない状況になっております。秋になって少しずつ入国が緩和され、今年度入学予定の留学生の入国は多少目途が立つようにはなってきました。

しかしながら、次年度以降の新規の留学生の受入も厳しいものがあります。そのうちした中で、AUA P留学先であるアメリカ・ワシントン州の3大学との間で授業科目の一部をオンラインにて英語を習得し、単位を認定するオンラインAUA Pがスタートいたしました。今後更に拡大する方向で進めております。

新野球部寮など

「日の出」も再開発

日の出キャンパスも再開発へ――日の出キャンパスにある硬式野球部の寮やトレーニングセンター、雨天体操場の建設などを令和5年3月までに行う。第1期工事として硬式野球部の寮を令和3年3月の竣工、第2期では、セミナーハウスの解体跡地にトレーニングセンター・クラブハウス及び雨天体操場を建設する。工事は第3期まで。



令和5年3月の完成予想図。野球部のグラウンドは人工芝前のもの。解体されるセミナーハウス跡地に雨天体操場やトレーニングセンターが、その前に新野球部寮が建つ

できます。受講希望者を当初100名としていたものが、約500名の応募がありました。残念ながら全員受け入れることができません。00名に絞らせて頂きました。来春は更に受入枠を拡大し、皆さまご希望に沿えるように致したく存じます。この夏には、データサイエンス大賞を新たに制定し、コロナ後の世界でも大いに活躍できる人材育成の体制を整えております。新入生全員を対象としたTOEIC®試験も、9月に実施することができ、ほぼ全員が受験いたしました。パソコンが使いこなせ、英語が使いこなせることができ、その上、しっかりと自分の専門を身に付けていれば、コロナ後の世界にも十分に太刀打ちができます。

おわりに

今後も、新型コロナウイルス感染症防止を第一の重要事項におきながら、迅速な対応に努め、建学の精神「自助協力」のもと世界に冠たる亜細亜大学を目指し尽力して参る所存です。青々会会員の皆さまから一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げますとともに、青々会会員の皆さまの更なるご発展を心から祈念いたしております。